

第15回エコツーリズム大賞
NPO法人森のこだまが特別賞受賞

第15回エコツーリズム大賞（主催 環境省、一般社団法人日本エコツーリズム協会）において、津別町で活動するNPO法人森のこだま（上野真司代表）が特別賞を受賞し、3月27日、林業研修会館で賞状授与式が行われました。

同大賞は、エコツーリズムに取り組み事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し広く紹介するもので、森のこだまは、ノンノの森ネイチャーセンターを中心としたエコツアーならびに雲海を資源として活用した優良なツアーを実施するなど、地域経済への貢献と環境教育を意識した活動が評価されました。



▲左から佐藤町長、上野代表、環境省釧路自然環境事務所・田邊所長

新一年生の安全な通学を願って
ランドセルカバー、マスコット寄贈

3月27日、津別町交通安全協会（中島浩一会長）から町教育委員会に、黄色いランドセルカバーと交通安全標語が書かれた50音表ポスター、交通標識定規が寄贈されました。

また、3月31日には、町内のボランティアグループ・折りづる会（林洋子代表）より、手づくりのストラップ付き交通安全祈願マスコットが寄贈されました。児童たちの安全な通学を願うこれらの品は、津別小学校の新一年生全員に贈られました。



▲交通安全協会・中島会長（右）と宮管教育長

事故のない安全・安心な社会を
交通安全推進町民大会を開催

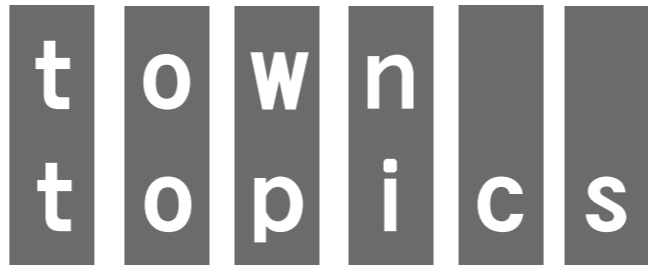
令和2年度津別町交通安全推進町民大会（主催 津別町交通安全推進委員会）が、4月9日、町民会館で開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して行いました。

大会の冒頭では、参加者全員が交通事故犠牲者に黙祷をささげ、死亡交通事故ゼロへの思いを新たにしました。

『第28回交通安全標語コンクール』の表彰では、小学生、中学生、高校生の部それぞれの最優秀賞のみの読み上げを行いました。続いて主催者・来賓の挨拶、交通死亡事故ゼロ日運動の確認を行い、今後は新たな目標である交通事故死ゼロ日運動1000日を目標することを参加者全員で共有し、大会を終えました。



▲今年は規模を縮小しスペースを大きく空けて開催



まちのわだい

小・中学校周辺の通学路で注意喚起
建設産業団体が交通安全旗を寄贈

4月2日、建設会社等が加盟する団体、建設産業交通安全推進網走地方本部美幌支部（支部会員・中村光一津別建設株式会社代表取締役）から町教育委員会に、交通安全旗の寄贈がありました。

寄贈されたのは、黄色地に赤い文字で『交通安全』とプリントされ、エゾシカをモチーフにしたイラストをあしらった大型の旗80枚です。

「黄色い旗と大人の目で子どもの安全を見守りたい」という願いを込めて中村さんから宮管教育長に手渡された旗は、小中学校周辺の通学路に掲げられ、児童・生徒の交通安全意識高揚やドライバーへの注意喚起に役立てられます。



▶交通安全旗を広げる中村さん（右）と宮管教育長

フレッシュ！！
津別町の新人さん特集！！

現在インターネットで公開中！ 町のHPをご覧ください

春は別れと出会いの季節。今回のタウンニュースつべつは、この春から津別町で働き始めた新人さんを、一挙にご紹介します。津別町役場は11名、津別消防署では2名、合計13名のフレッシュマンが登場します。4月初旬に撮影された、彼らの働きたてのドキドキの表情と意気込みをどうぞ！



この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信（月1回）することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ（映像看板）」でも視聴することができます。＊タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末ごろ更新
《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》
問い合わせ先 住民企画課 企画係 ☎76-2151（内線243）

地域おこし協力隊の
つぎの
日記

地域おこし協力隊隊員が津別町に来て学んだこと感じたことをつづります。

78 明けない夜は無いです

熊谷美由紀

津別町⇄東京都⇄津別町のUターン組。津別観光協会、さんさん館勤務。

原稿を書いている今ですが、4月中旬です。日々新型コロナウイルス関連の話題ばかりです。新しい年度となったので気持ちも新たに過ごしたいところですが、中々晴れやかな気分にはなれない現状です。

例えば、今年（昨年）の冬はおかしな感じでした。年が明けても雪も積もらず…と思えばその分を挽回するような大雪が降り…。北海道の冬とは思えないほどの暖かい日が続いたり…。約25年間、津別町から離れてはおりましたがこんな冬は初めての経験でした。

私が勤務している観光協会では夏になると「カブトムシはどこで捕れますか?」「バッタはどこにいますか?」などという質問が頻りに来ます。私の25年前の記憶では「北海道にはカブトムシはいません!」「バッタはそこら中にいますか?」と答えるところでした。

しかし、今は津別町にもカブトムシが生息しており、バッタはほとんどみかけない。といった事実がわかりました。気候も環境も昔とは変化しており、自分自身もいろいろ上書きしなければならぬ事が増えているのを実感します。

地域おこし協力隊としての活動も三年目に入りました。気を引き締めてこの一年邁進したいと思います。